2013年3月期決算説明

2013年5月27日

山一電機株式会社

（証券コード　6941）

ご説明内容

【1】FY2012業績について

【2】FY2013業績見通しについて

【3】山一電機の概要（参考資料）

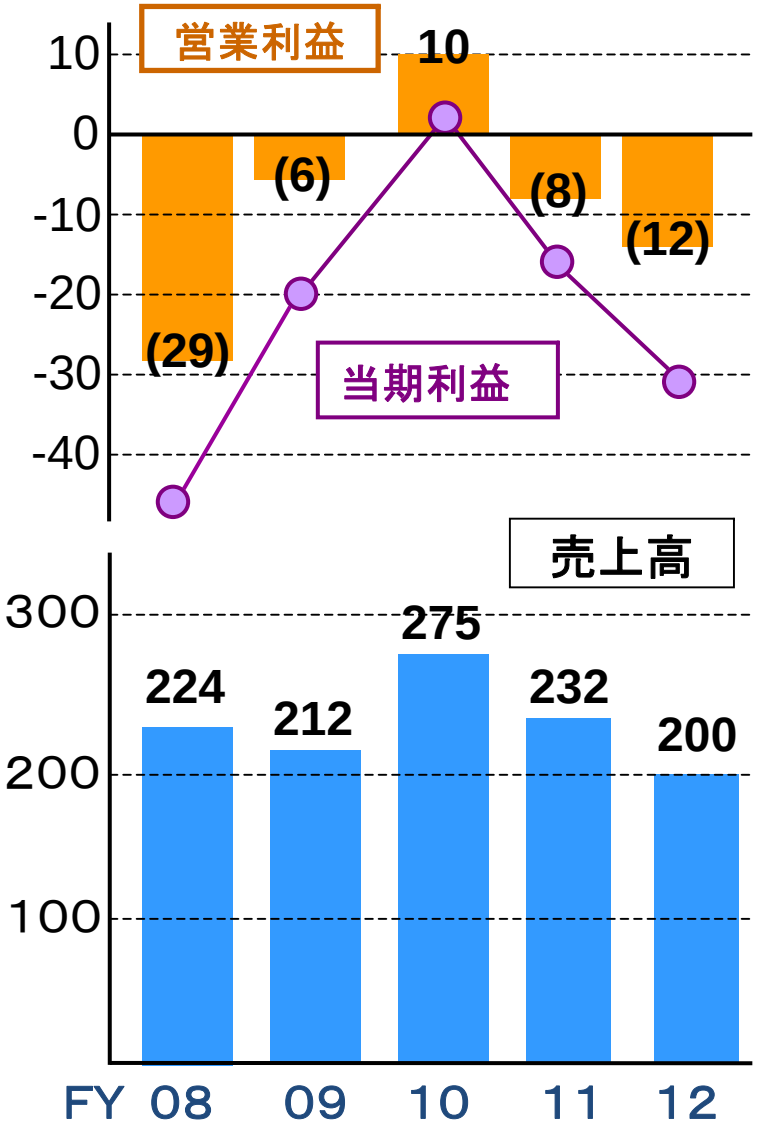
FY2012決算のポイント

全事業低調　⇒　構造改革（固定費の圧縮、技術的競争力の低い事業から撤退）　3

	ハイライト	ローライト
TS （テストソリューション）	期末において受注改善の傾向	PC用途メモリ向けビジネスは谷間 全般にバーンインソケット販売低調
CS （コネクタソリューション）	アミューズ・カーナビ向けビジネスは 堅調に推移	デジタル家電向け需要低迷 AOCビジネス量産中止
OPT （光関連）	1μm帯波長可変半導体レーザーが 神奈川工業技術開発大賞受賞	DSC・DVC向け需要低迷
PS （PVソリューション）	撤退　ジャンクションボックスから完全撤退 コネクタケーブルは CS事業の中で継続	
EMS	撤退　フィリピンのEMS事業は 6月末 売却予定 マティ社の事業は 6月10日 事業終結・2013年度清算結了予定	
全体	3Q以降の円安は、主として子会社への外貨建て貸付の評価益として 営業外損益の改善に寄与	

FY2012業績結果について

営業損失12.4億円、経常損失8.1億円、当期純損失31.4億円



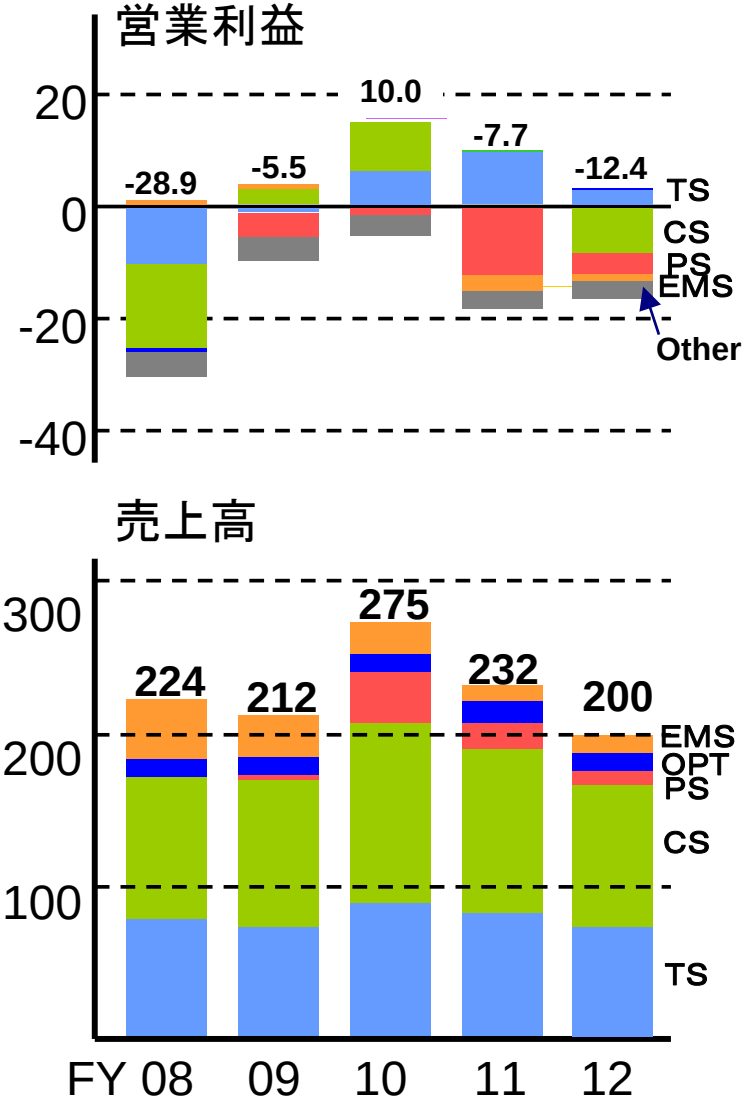
単位：億円

	FY11	前回予想	FY12	前年比	前回予想比
売上高	232	200	200	86%	100%
売上原価	179		159	88%	
売上総利益	52		41	78%	
販売管理費	60		53	89%	
営業利益	- 7.7	-12.0	- 12.4	- 4.7	- 0.4
営業外損益 ※1	- 0.2		4.3	+ 4.1	
経常利益	- 7.9	-9.6	- 8.1	- 0.2	+ 1.5
特別損益 ※2	- 5.8		- 22.2	- 16.4	
法人税等	- 1.7		- 1.1	+ 0.6	
当期純利益	- 15.4	- 25.8	- 31.4	- 16.0	- 5.6

※1　営業外損益：為替差益4.9億円
※2　特別損益：MTC清算関連5.4億円、YEC早期退職5.6億円、固定資産減損10.6億円 等

FY2012事業別業績結果について

TS事業：半導体設備投資低迷　CS事業：ﾃﾞｼﾞﾀﾙ家電市場低迷とAOC立上ロス



単位：億円

	売上高			営業利益		
	FY11	FY12	前年比	FY11	FY12	前年比
TS	84	72	-14%	9.1	2.4	-74%
CS ※1	106	94	-11%	0.3	-7.8	赤転
PS	17	9	-46%	-11.8	-3.5	赤縮
OPT	15	12	-20%	0.6	0.3	-50%
EMS	10	12	16%	-2.7	-0.8	赤縮
Other				-3.2	-3.1	
Total	232	200	-14%	-7.7	-12.4	赤拡

※1　CS事業 FY12：AOC立上ロスコスト 5.6億円

FY2012貸借対照表

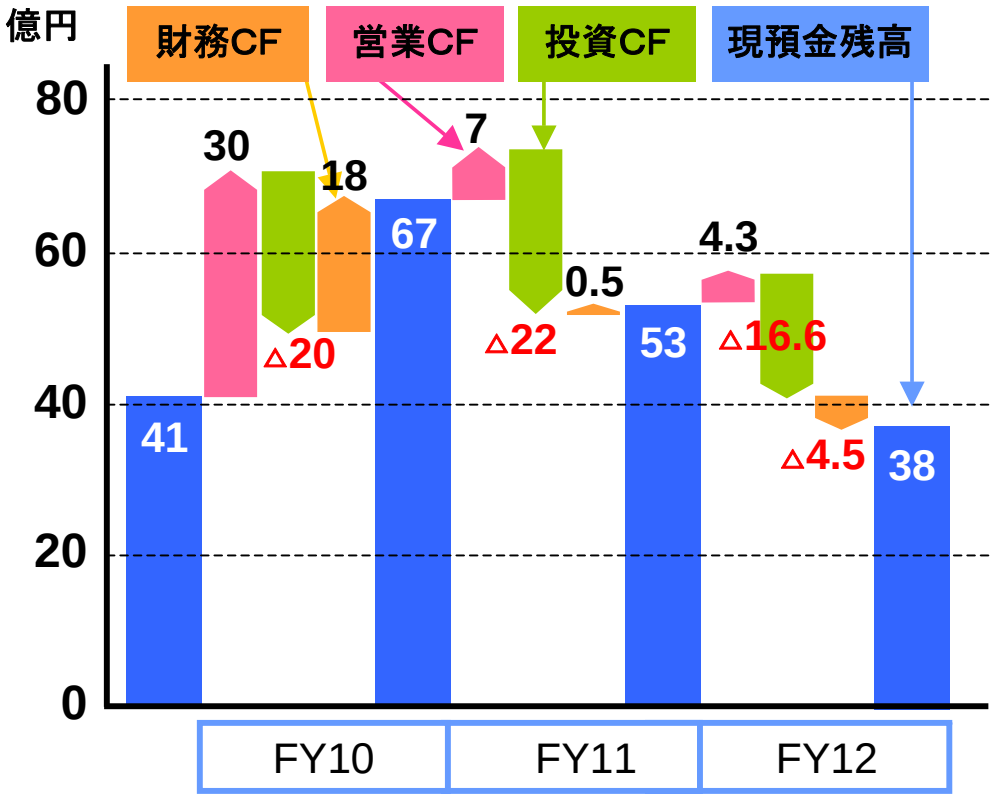
自己資本比率53.6%

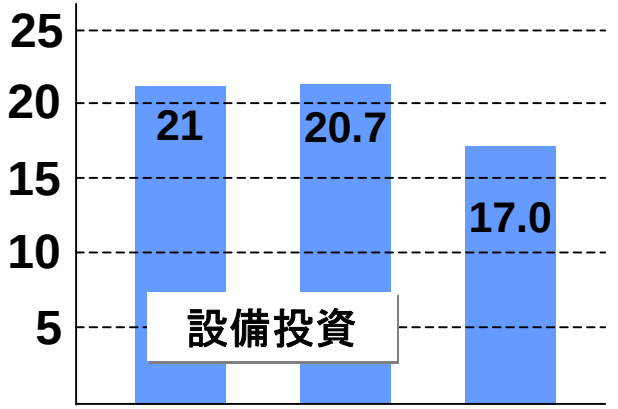
単位：億円	2011.3末	2012.3末	2013.3末	前期比増減	
流動資産	151	137	113	- 24	
現金及び預金	67	53	38	- 15	← 売上減、特別退職金の支払等による減少
受取手形・売上金	43	45	39	- 6	
棚卸資産・その他資産	41	39	36	- 3	
固定資産	133	125	115	- 10	
有形固定資産	108	102	92	- 10	← CS・EMS事業の固定資産の減損により減少
無形固定資産	2	1	1		
投資・その他資産	23	22	22		
資産合計	283	262	228	- 34	
流動負債	103	97	88	- 9	
支払手形・買掛金	19	16	13	- 3	
短期借入金	67	63	55	- 8	← 借入金の返済
その他負債	17	18	20	2	
固定負債	13	15	17	2	
負債合計	116	112	106	- 6	
株主資本	178	163	131	- 32	← 当期純損失の計上による減少
純資産合計	167	150	122	- 28	

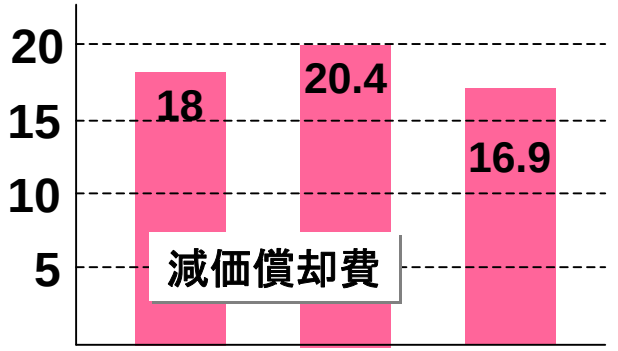
FY2012 CF・設備投資・減価償却費・研究開発費

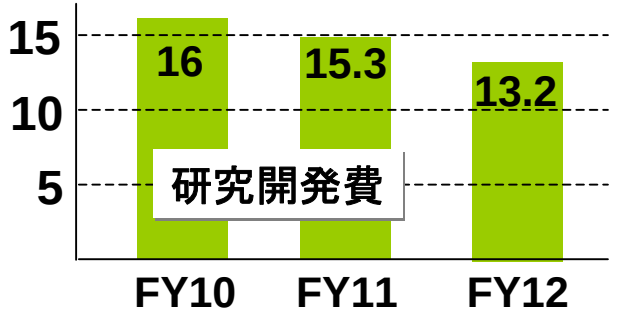
キャッシュフロー

単位：億円









【1】FY2012業績について

【2】FY2013業績見通しについて

【3】山一電機の概要（参考資料）

構造改革を仕上げ、成長戦略に繋げていく

構造改革	EMS事業の終結	PMIのEMS売却
		MTCの清算結了
	販管費の圧縮	本社移転、ERPコスト削減、WW業務人員見直し
収益力強化	不採算品からの撤退	現不採算からの撤退と将来に作らない仕組み化
	ロスコストの低減	現場力に磨きをかけ、無駄コストを圧倒的に減ずる
	海外機能アップ	開発、QCD管理、ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ管理を海外移転
成長戦略	TS事業	ブランド力を生かし、顧客サービスに機会を増やす
	CS事業	ニッチトップの戦略を徹底する
	OPT事業	キラー商品「NexT35」をビジネス化する

FY2013業績予想

FY2013　黒字化必達へ

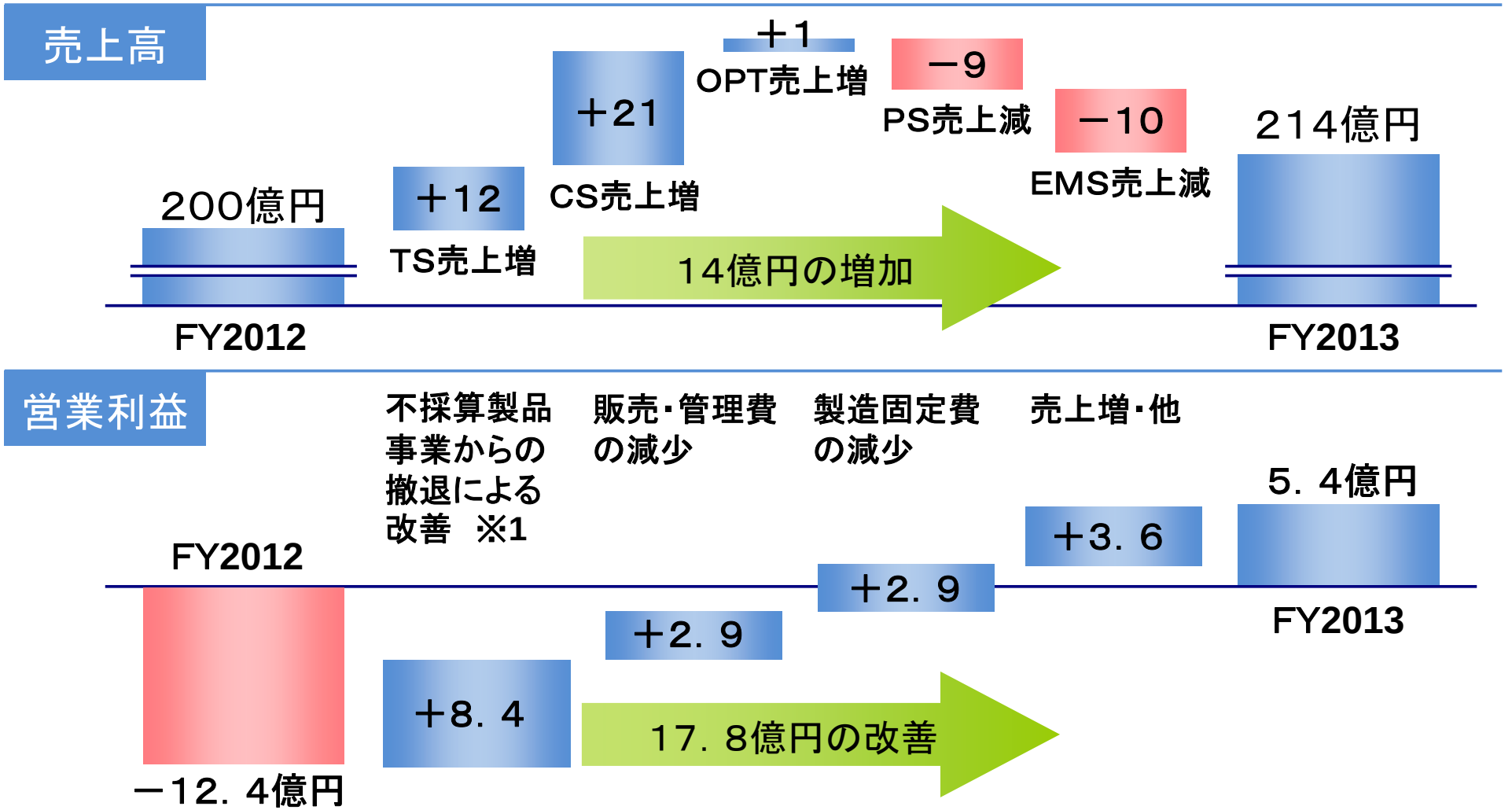
単位：億円

	FY2012	FY2013（予想）			
	通期	上期	下期	通期	前期比
連結売上	200	103	111	214	7.1%
営業利益	- 12.4	0.6	4.8	5.4	黒転
営業利益率	- 6.2%	0.6%	4.3%	2.5%	—
経常利益	- 8.1	- 0.6	3.8	3.2	黒転
当期利益	- 31.4	- 0.9	3.4	2.5	黒転
EPS	- 134.8円	- 3.9円	14.6円	10.7円	—

FY2013 為替レート
US$　95.00円
€　123.00円

設備投資　18億円
減価償却費　16億円
研究開発費　12億円

対FY2012改善内容

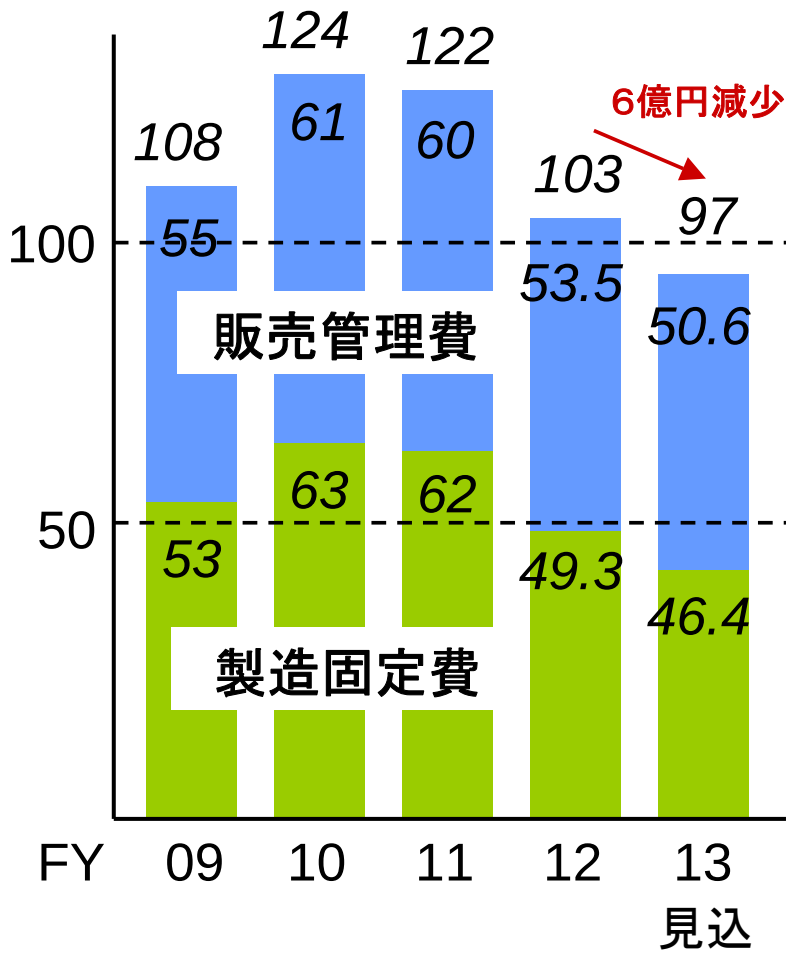


※1：PV（3.5）、AOC（4.1）、その他（0.8）

製造固定費・販管費

海外でFY2012と同額発生すれば、円安により約4.4億円増加となる

単位：億円



販売管理費

YEC人員減ほか	▲2.9	全コストの見直し
PMI EMS売却	▲0.6	
MTC清算	▲0.4	
海外現法	▲1.7	人員減、流通コスト
円安による増	2.7	

製造固定費

YEC 海外移管	▲2.0	人員減、設備減損
YDM縮小	▲1.5	人員減、設備減損
PMI EMS売却	▲1.5	
MTC清算	▲0.5	
KKC減価償却増	0.8	生産設備増強更新
円安による増	1.7	

FY2013事業別業績見通しについて

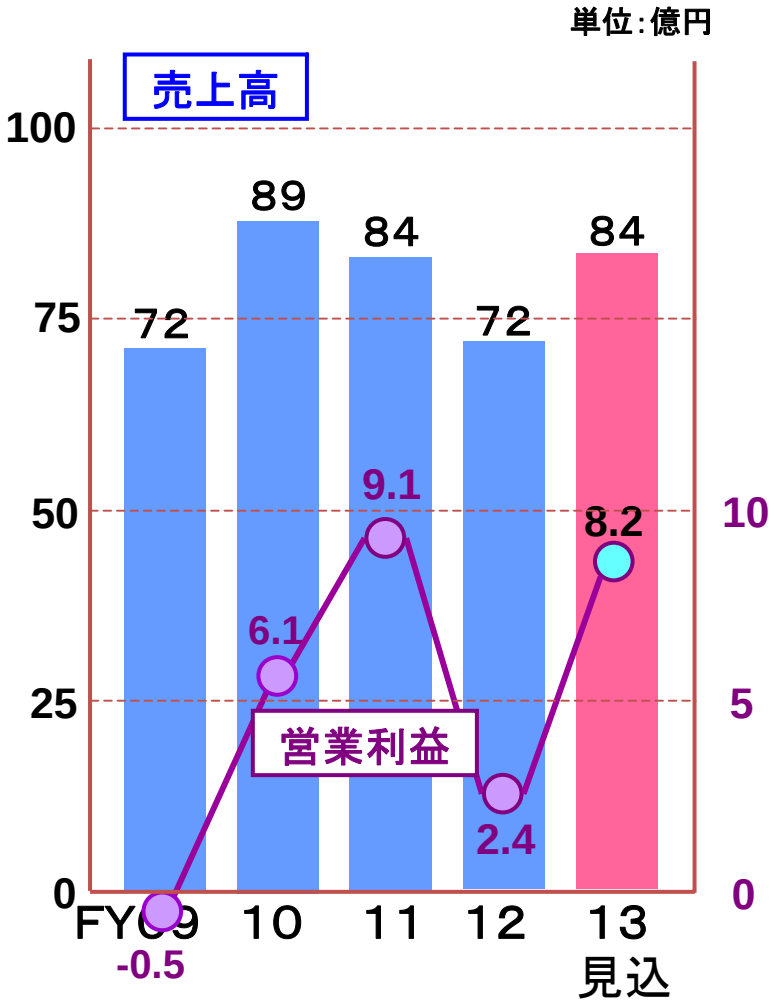
FY2013　全事業黒字化へ

単位：億円

	売上高						営業利益					
	FY2012			FY2013			FY2012			FY2013		
	1H	2H	通期	1H	2H	通期	1H	2H	通期	1H	2H	通期
TS	39	33	72	40	44	84	2.9	- 0.5	2.4	3.5	4.7	8.2
CS	47	47	94	55	60	115	- 3.6	- 4.2	- 7.8	- 0.6	1.2	0.6
PS	9	0	9	—	—	—	- 2.9	- 0.6	- 3.5	—	—	—
OPT	6	6	12	6	7	13	0	0.3	0.3	-0.2	0.5	0.3
EMS	6	6	12	2	0	2	- 0.8	0	- 0.8	- 0.7	- 0.1	- 0.8
Other	—	—	—	—	—	—	- 1.6	- 1.5	- 3.1	- 1.4	- 1.5	- 2.9
Total	105	95	200	103	111	214	- 6.0	- 6.4	- 12.4	0.6	4.8	5.4

テストソリューション事業

ブランド力を生かし、顧客サービスに機会を増やす



バーンイン用途

モバイル・車載向け半導体投資がを確実に受注する

モバイル・車載向けのシェアアップを行う

テスト用途

差異化製品で大口顧客獲得へ

海外ユーザーのサポート体制の強化

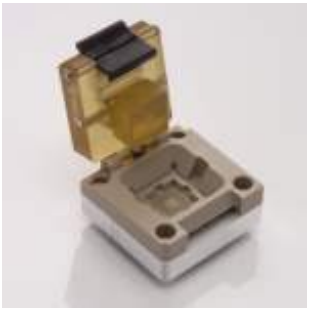
テストサービス事業

黒字化を定着させ、収益拡大へ

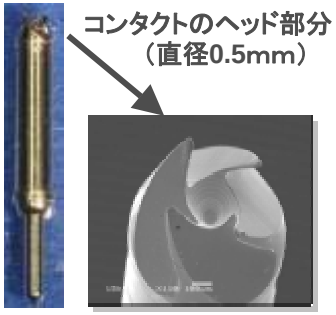
バーンイン ソケット



テスト ソケット



プローブピン



2013年度の戦略

競争力強化

- 部品技術（メッキ含む）強化
- バーンイン温度高温化対応
- 部品技術を生かす生産技術
- 海外生産強化（納期短縮）

BiTSで「高温バーイン対応技術」
”Best Data Award” 受賞（3月）



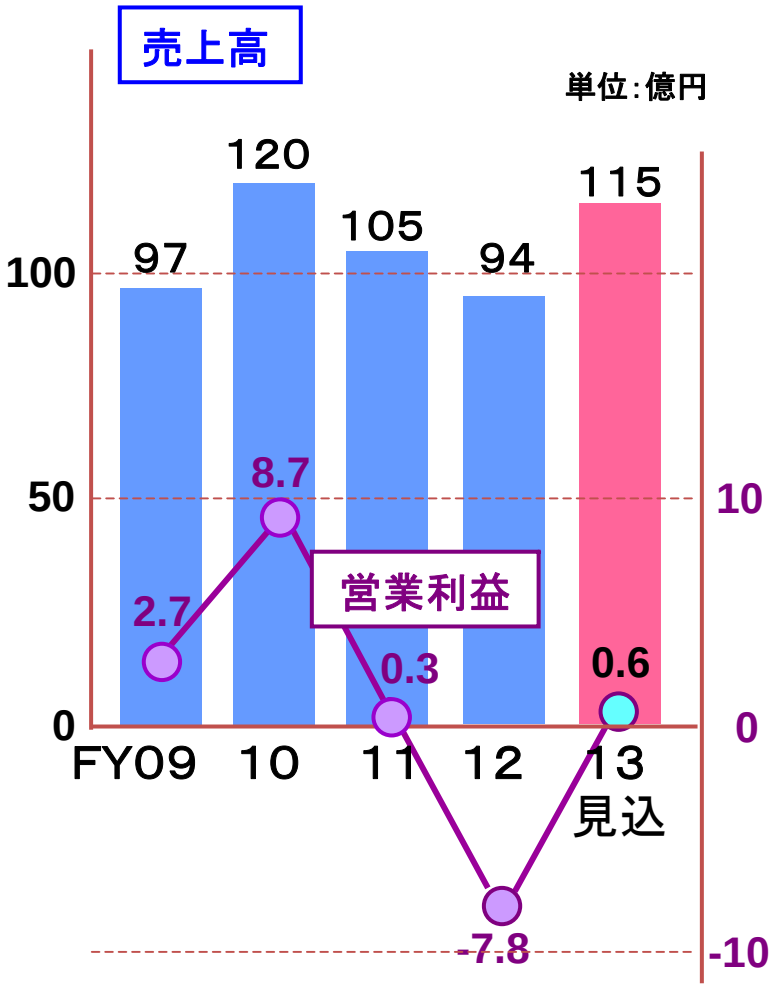


マーケット・イン思想の徹底

- 顧客の要求への徹底対応
- 新製品立ち上げ短縮
- 経験に裏付けされた提案



ニッチトップの戦略を徹底する

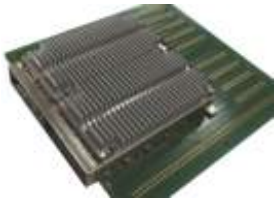
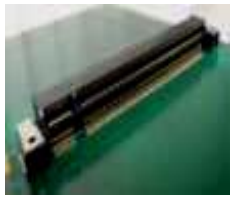


高速伝送市場
- 通信インフラ向けCFP2ビジネスの拡販
- YFLEX多層基板製品の拡販

産業機器市場
- 欧州産業機器向け防塵防水コネクタの拡大
- 欧州市場に新製品を投入

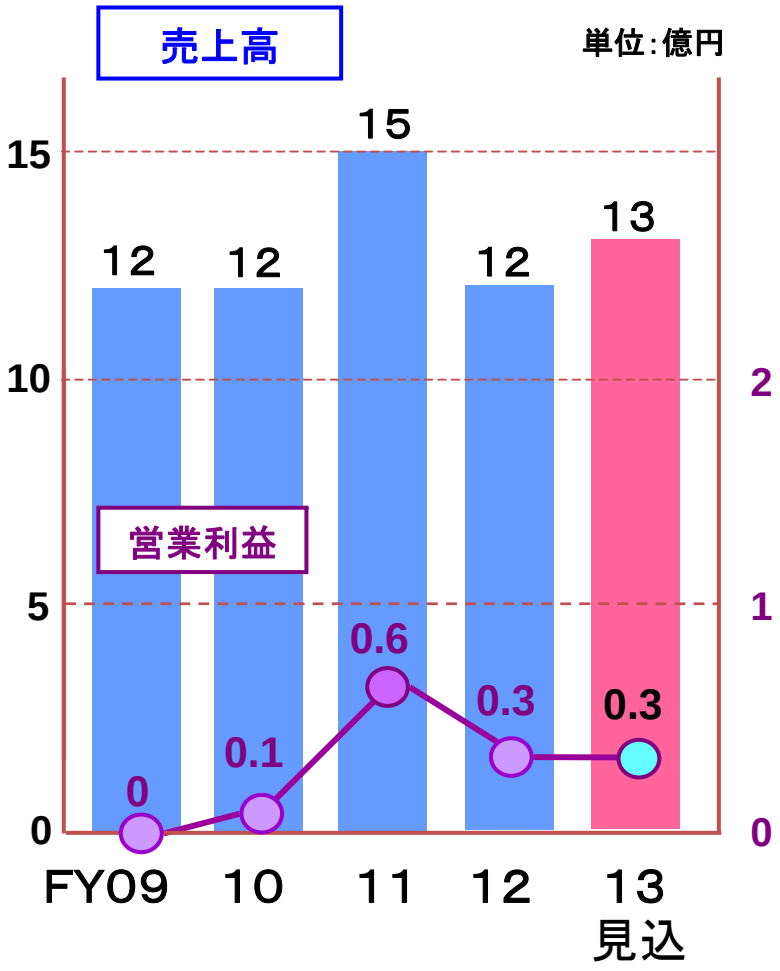
車載市場
- 車載用情報機器向けBECコネクタ、車載用カードコネクタ、YFLEX製品の拡販

民生市場
- 不採算製品排除

通信インフラ系	欧州産機向け	車載向け	
			
CFP2	防塵防水コネクタ	BECコネクタ	車載用カードコネクタ

光関連事業（光伸光学工業）

技術的優位性の高い製品を拡販 （キラー商品「NexT35」をビジネス化する）



民生・モバイル市場

（デジカメ、スマホカメラモジュール・監視カメラ・プロジェクタ）

- 新製品IRカットフィルタ（NexT35）の拡販
- 水晶UV、樹脂IRカットフィルタの拡販

光通信市場

（FTTH・光ファイバセンシング・光計測機器・光コンポーネント）

- ポリイミドフィルタとIBS成膜加工の複合技術を活かしたポリイミドWDMバンドパスフィルタの拡販
- 波長可変量子ドット光源の拡販



IRカットフィルタ（NexT35）



波長可変量子ドットレーザ光源

ご清聴ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2013年5月17日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：経営管理部広報課　笹川康彦

TEL：03-3778-6153　FAX: 03-3778-6171

http://www.yamaichi.co.jp

E-mail: sasagawa@yamaichi.co.jp

ご説明内容

【1】FY2012業績について

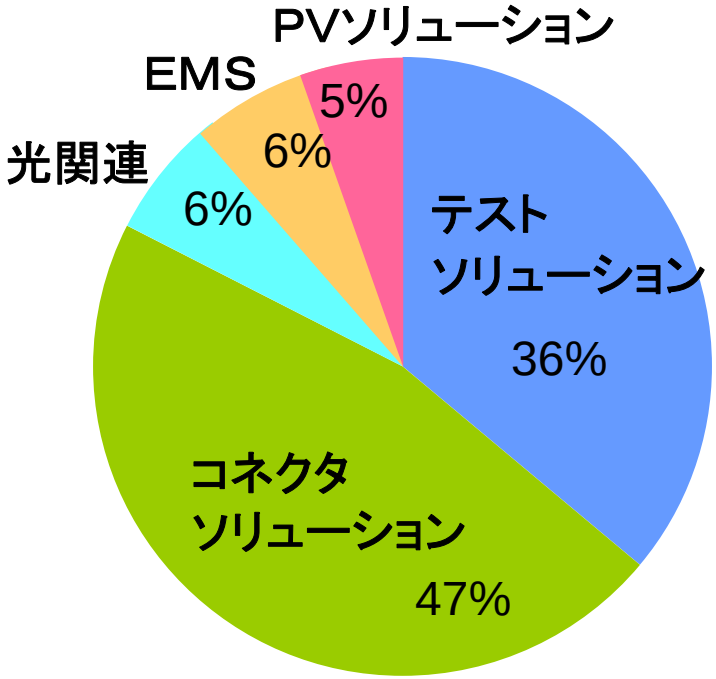
【2】FY2013業績見通しについて

【3】山一電機の概要（参考資料）

山一電機について

概　要

【売上高構成比 FY2012】



●概要

本社	東京都大田区
設立	1956年11月1日
資本金	10,047百万円（株式 23,289千株)
従業員数	366名　（グループ 3,510名）
	※2013/ 3現在、臨時社員含む
拠点	国内 5社（8拠点）、海外13社（15拠点）

●創立57年の接触機構部品メーカー

バーンインソケット（世界シェア40%）の最大手
コネクタはメモリカード・高速伝送に強み

●海外比率

売上比率59%、生産比率86%（FY2012）
開発・生産・販売をグローバルに展開
海外マネージメントはローカル比率が高い

事業および製品紹介

■テストソリューション事業



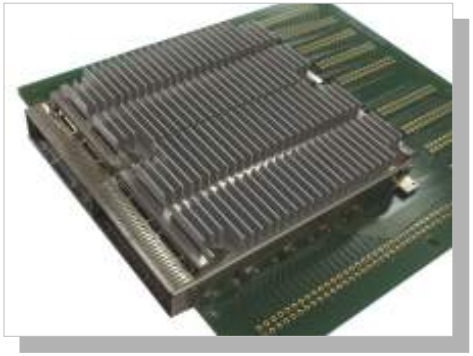
・バーンイン用ICソケット
・テスト用ICソケット
・プローブピン
・プローブカード
・半導体テストサービス

■光関連事業



・光学薄膜フィルタ
・半導体レーザ光源
・光モジュール

■コネクタソリューション事業

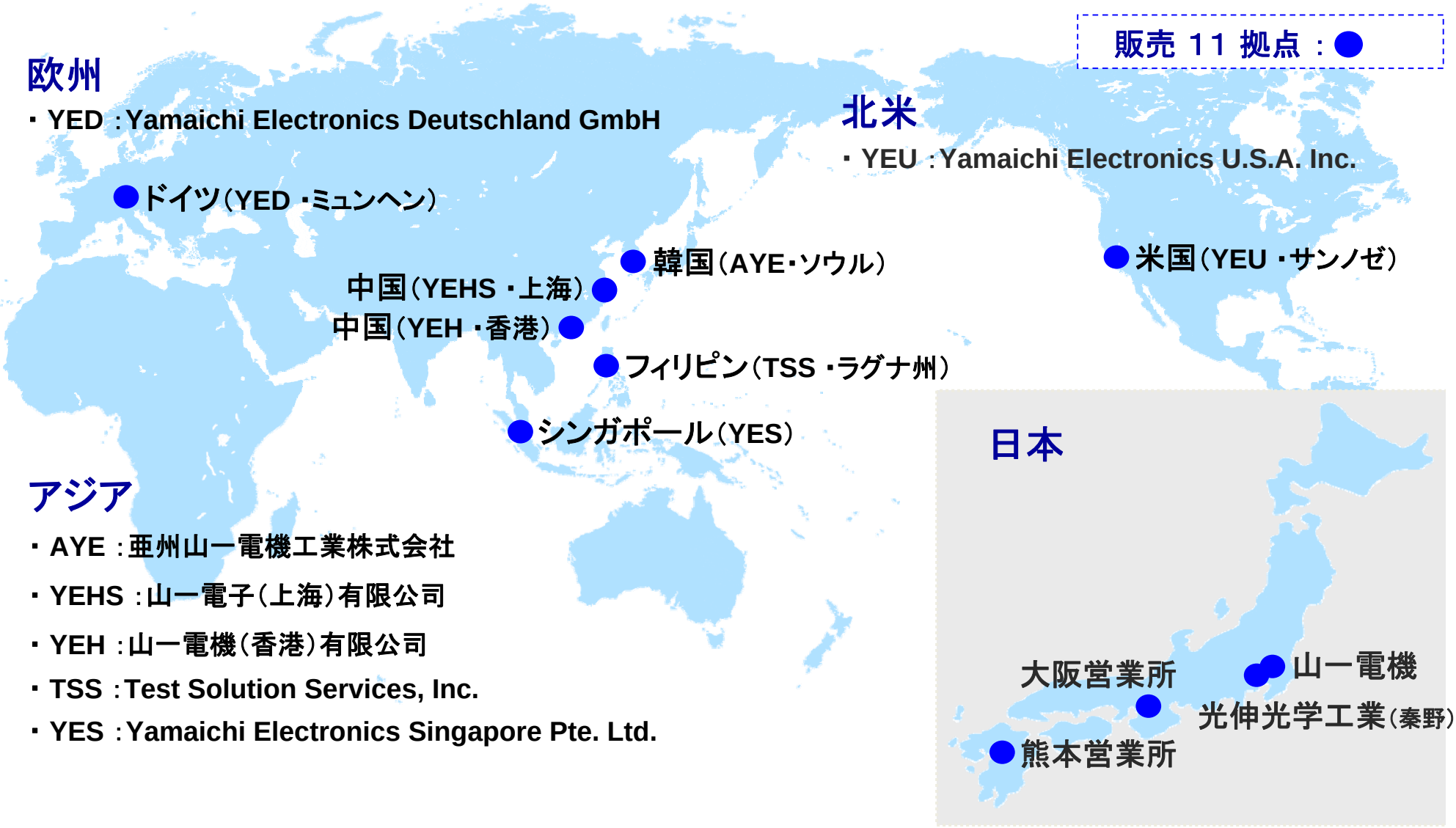


・メモリーカードコネクタ
・高速伝送用コネクタ
・実装用ICソケット
・YFLEX™
（フレキシブルプリント配線板）
・太陽電池モジュール用
コネクタケーブル



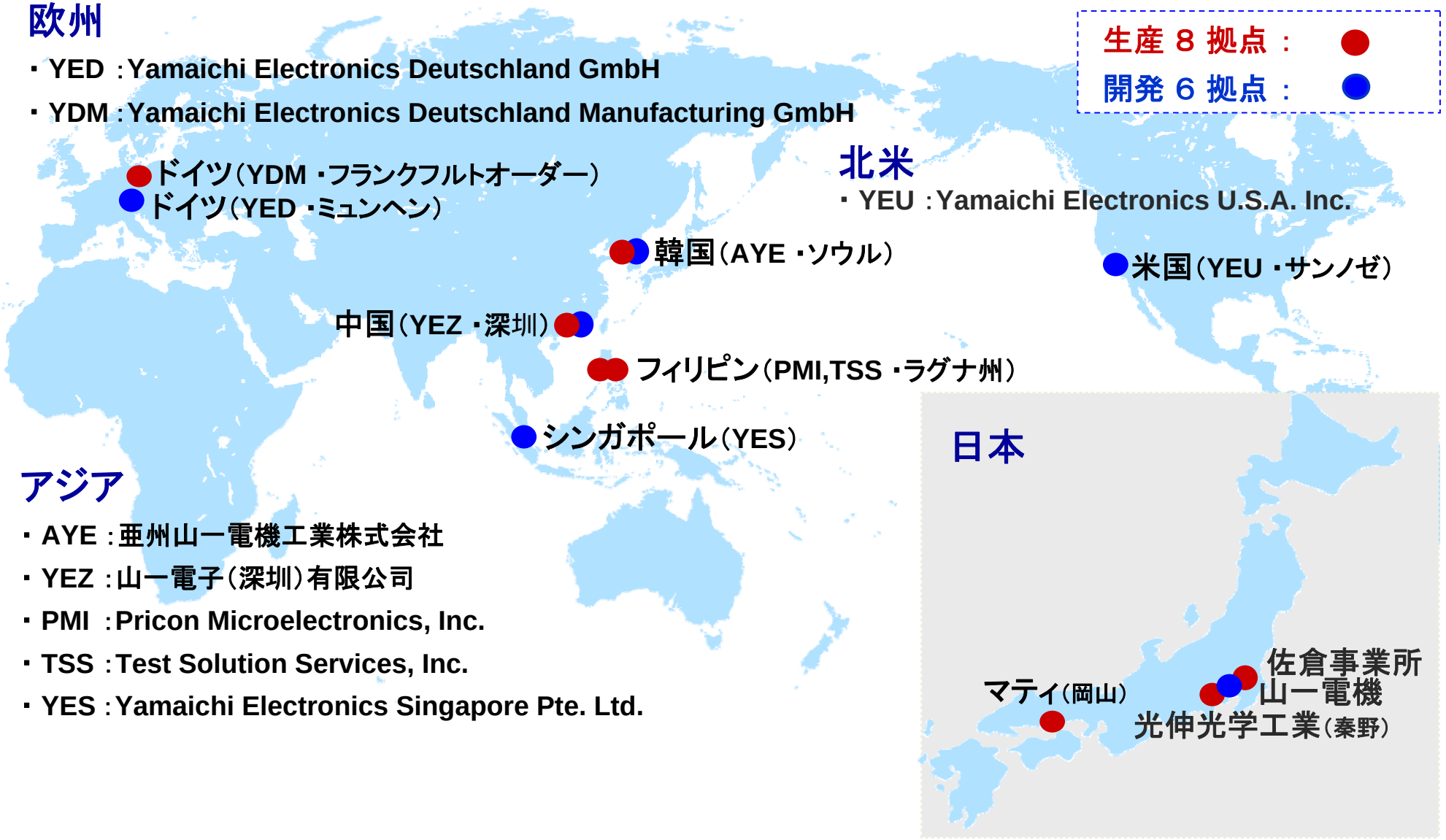
グローバルネットワーク

販売拠点



グローバルネットワーク

生産/開発拠点



欧州

- YED :Yamaichi Electronics Deutschland GmbH
- YDM :Yamaichi Electronics Deutschland Manufacturing GmbH

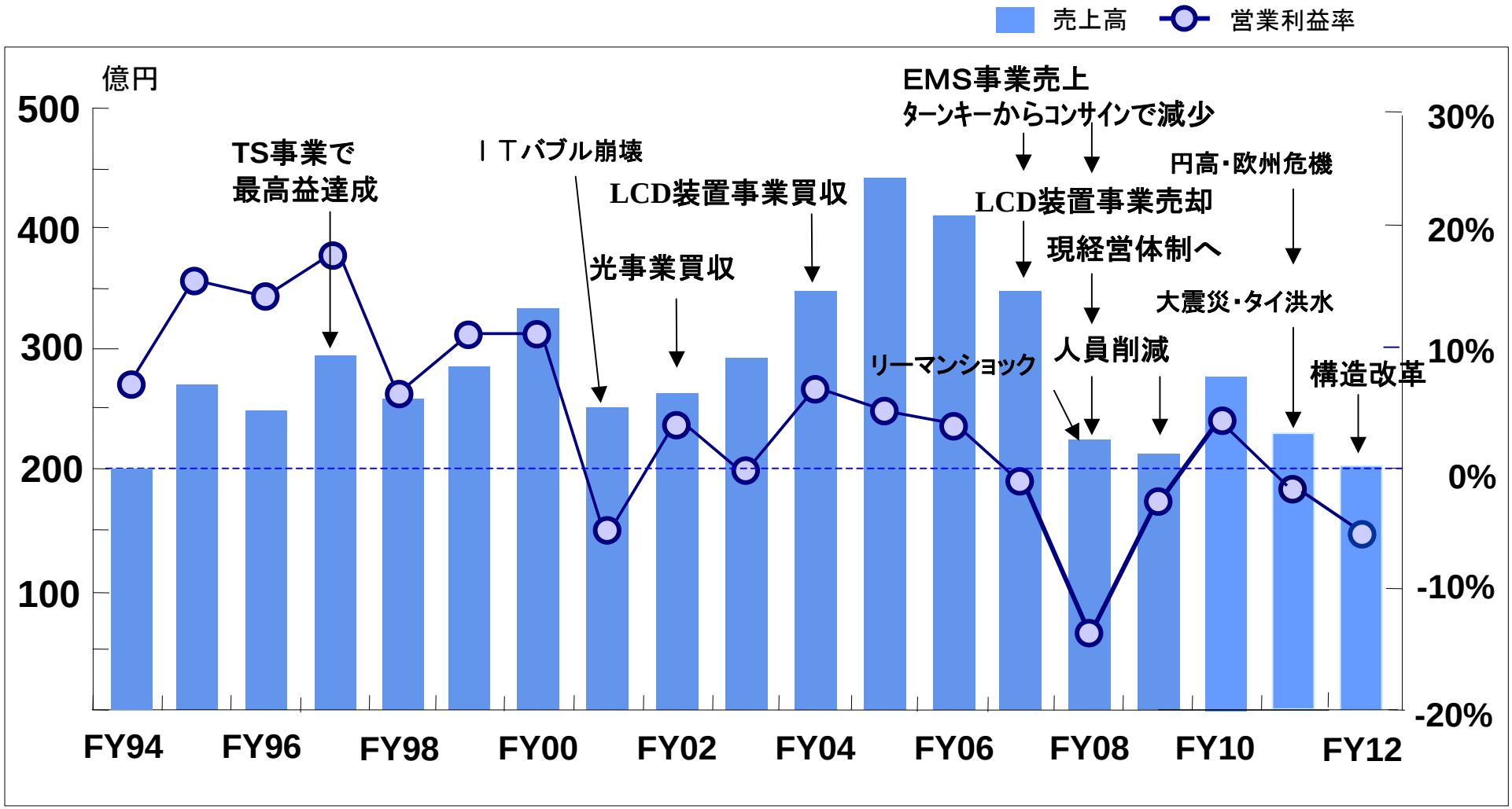
北米

- YEU :Yamaichi Electronics U.S.A. Inc.

アジア

- AYE :亜州山一電機工業株式会社
- YEZ :山一電子(深圳)有限公司
- PMI :Pricon Microelectronics, Inc.
- TSS :Test Solution Services, Inc.
- YES :Yamaichi Electronics Singapore Pte. Ltd.

長期的な業績の推移


売上高
営業利益率
億円
500
400
300
200
100
30%
20%
10%
0%
-10%
-20%
TS事業で
最高益達成
ＩＴバブル崩壊
光事業買収
LCD装置事業買収
EMS事業売上
ターンキーからコンサインで減少
LCD装置事業売却
円高・欧州危機
現経営体制へ
大震災・タイ洪水
リーマンショック
人員削減
構造改革
FY94
FY96
FY98
FY00
FY02
FY04
FY06
FY08
FY10
FY12

山一電機について

新経営体制について （異動予定日：平成25年6月26日） 25

1. 新経営体制の目的

新たな経営体制により、経営基盤の更なる強化を図る。

2. 新経営体制

	役　名・職　名	氏　名
新任	代表取締役社長	太田　佳孝
重任	取締役　管理本部長兼経理部長	加藤　勝市
新任	取締役　テストソリューション事業部長	土屋　武
新任	取締役　コネクタソリューション事業部長	亀谷　淳一
重任	取締役　光伸光学工業株式会社　代表取締役社長	渡部　武光
新任	常勤監査役	近岡　伸
重任	監査役	吉田　壽美雄
重任	監査役	多田　郁夫

山一電機について

新任　代表取締役社長　太田　佳孝　（おおた　よしたか）略歴



（就任予定：平成25年6月26日）

平成25 年6月26 日開催予定の当社第58 期定時株主総会における承認を経たうえで、その終了後に開催される取締役会において代表取締役に正式に決定される予定であります。
なお、常勤監査役につきましては、同総会終結の時をもって退任する予定であります。

◇ 略　歴

昭和 23年 10月 10日 生　(64歳)

昭和 23年 4月	東京芝浦電気株式会社 （現 株式会社東芝）入社
平成 14年 5月	当社入社
平成 16年 4月	上席執行役員　生産統括本部長
平成 17年10月	上席執行役員　佐倉事業所長
平成 19年 4月	上席執行役員　経営企画部長
平成 20年 6月	取締役　経営企画部長
平成 21年 6月	ﾌﾟﾗｲｺﾝﾏｲｸﾛｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽINC. 取締役副社長
平成 22年 6月	常勤監査役（現）